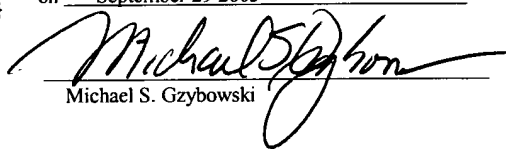


PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

<i>Group</i>		}	<u>Certificate Under 37 CFR 1.10</u>
<i>Art Unit:</i>	Unknown	}	
		}	'EXPRESS MAIL' MAILING LABEL NO:
		}	
<i>Attorney</i>		}	<u>EL697545530US</u>
<i>Docket No.:</i>	121027-200	}	
		}	DATE OF DEPOSIT: <u>September 29 2003</u>
<i>Applicant:</i>	Hikari KAWATA et al.	}	I HEREBY CERTIFY THAT THIS PAPER OR FEE IS
		}	BEING DEPOSITED WITH THE UNITED STATES
<i>Invention:</i>	URINE GUIDING ARTICLE AND USE OF	}	POSTAL SERVICE "EXPRESS MAIL POST OFFICE
	THE SAME	}	TO ADDRESS" SERVICE UNDER 37 CFR 1.10 ON
		}	THE DATE INDICATED ABOVE AND IS
<i>Serial No:</i>	Unknown	}	ADDRESSED TO THE COMMISSIONER FOR
		}	PATENTS, P.O. BOX 1450, ALEXANDRIA, VA
<i>Filing Date:</i>	September 29 2003	}	22313-1450.
		}	
<i>Examiner:</i>	Unknown	}	on <u>September 29 2003</u>
		}	
			Michael S. Gzybowski

CLAIM OF PRIORITY

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

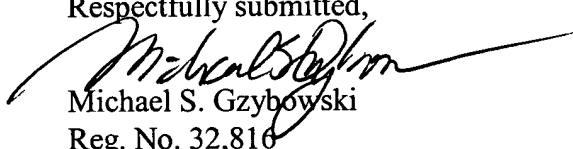
In accordance with the provisions of 35 U.S.C. 119, applicants hereby claim priority of:

Japanese Patent Application No. 2002-287462

Filed September 30, 2002

A certified copy of the above priority documents are being submitted herewith.

Respectfully submitted,


Michael S. Gzybowski
Reg. No. 32,816

BUTZEL LONG
350 South Main Street
Suite 300
Ann Arbor, Michigan 48104
(734) 995-3110

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 9月30日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-287462

[ST.10/C]:

[JP2002-287462]

出 願 人

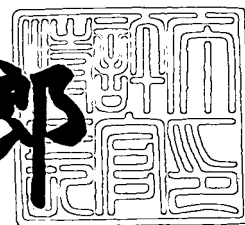
Applicant(s):

ユニ・チャーム株式会社

2003年 5月23日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3038332

【書類名】 特許願

【整理番号】 SL14P100

【提出日】 平成14年 9月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A61F 13/00

【発明の名称】 尿誘導シートおよびその使用方法

【請求項の数】 7

【発明者】

 【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
 チャーム株式会社テクニカルセンター内

 【氏名】 河田 ひかり

【発明者】

 【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
 チャーム株式会社テクニカルセンター内

 【氏名】 和田 一郎

【特許出願人】

 【識別番号】 000115108

 【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100066267

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 白浜 吉治

 【電話番号】 03(3592)0171

【選任した代理人】

 【識別番号】 100108442

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小林 義孝

 【電話番号】 03(3592)0171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 尿誘導シートおよびその使用方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 互いに平行して上下方向へ延びる複数条の帯片からなる尿誘導部と、複数条の前記帯片の上端部どうしをつなぐシート状の連結部とからなり、前記帯片を濡らす尿を前記帯片の前記上端部からその反対端部である下端部へ向かう方向へ流れるように誘導することができることを特徴とする尿誘導シート。

【請求項 2】 前記帯片が該帯片の幅方向よりも前記上端部から下端部へ向かう長さ方向へ前記尿を容易に拡散できるものである請求項 1 記載のシート。

【請求項 3】 前記帯片が繊維の集合体であって、その繊維が前記上下方向へ配向している請求項 1 または 2 記載のシート。

【請求項 4】 前記帯片が疎水性の繊維で形成されている請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のシート。

【請求項 5】 前記帯片が前記疎水性の繊維と親水性の繊維とを含む請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載のシート。

【請求項 6】 前記連結部の片面に接着剤および粘着剤のいずれかが塗布されている請求項 1 ～ 5 にいずれかに記載のシート。

【請求項 7】 前記連結部を使い捨ておむつ、失禁患者用おむつ、吸尿パッドいずれかの体液吸収性着用物品の内面に取り付けて前記体液吸収性着用物品とともに請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の尿誘導シートを使用することを特徴とする前記尿誘導シートの使用方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、使い捨ておむつや吸尿パッド等の体液吸収性着用物品と併用し、尿が排泄された直後に、尿の流れを着用物品の下方へ向かって誘導することができるシートに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、使い捨ておむつの吸収体に尿の流れをおむつの上方から下方へ向かって誘導することができる圧搾溝を形成することは、例えば特許文献 1 によって公知である。かかる溝は、尿等の体液がおむつの側方へ流れて漏れるという問題を解消する。

【0003】

【特許文献 1】 実開平 6 - 4 8 6 3 8 号公報

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このような圧搾溝は、使い捨ておむつに予め形成されているものであって、当然のことながら、圧搾溝がないおむつを購入した場合には、圧搾溝による効果を利用することができない。

【0005】

この発明が課題とするのは、圧搾溝によらなくても体液吸収性着用物品における尿の流れを誘導できる簡易な手段の提供である。

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するためのこの発明は、物に係る発明と、その物の使用方法に係る発明とからなる。

【0007】

前記物に係る発明において、この発明が特徴とするところは、互いに平行して上下方向へ延びる複数条の帯片からなる尿誘導部と、複数条の前記帯片の上端部どうしをつなぐシート状の連結部とからなり、前記帯片を濡らす尿を前記帯片の前記上端部からその反対端部である下端部へ向かう方向へ流れるように誘導することができる尿誘導シートにある。

【0008】

かかる発明には、次のような好ましい実施態様がある。

(1) 前記帯片が該帯片の幅方向よりも前記上端部から下端部へ向かう長さ方向へ前記尿を容易に拡散できるものである。

(2) 前記帯片が繊維の集合体であって、その繊維が前記上下方向へ配向している。

(3) 前記帯片が疎水性の繊維で形成されている。

(4) 前記帯片が前記疎水性の繊維と親水性の繊維とを含む。

(5) 前記連結部の片面に接着剤および粘着剤のいずれかが塗布されている。

【0009】

また、前記使用方法に係る発明において、この発明が特徴とするところは、前記連結部を使い捨ておむつ、失禁患者用おむつ、吸尿パッドいずれかの体液吸収性着用物品の内面に取り付けて前記体液吸収性着用物品とともに請求項1～6のいずれかに記載の尿誘導シートを使用する前記尿誘導シートの使用方法にある。

【0010】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、この発明に係る尿誘導シートとその使用方法との詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0011】

図1に斜視図で示された尿誘導シート1は、図において斜めに上方から下方へ互いに並行して延びる複数条の帯片2からなる尿誘導部3と、各帯片2の上端部4どうしをつないで横方向へ延びる連結部6とを有する。

【0012】

好ましい帯片2は、3～30mmの幅と、50～400mmの長さとを有し、不織布、織布、フィルム、紙等のシート材料によって形成される。このシート材料が不織布または織布である場合には、それらを形成する繊維に疎水性のもの、親水性のもの、疎水性のものと親水性のものの混合物を使用することができる。繊維はまた、帯片2の長さ方向へ配向していることが好ましい。

【0013】

連結部6は、帯片2と同様に不織布や織布、フィルム、紙等のシート材料によって形成され、帯片2の上端部4が接着、溶着、縫合等の手段によって固定されている。図示例の連結部6は、内面シート11と、その裏側に位置する外面シート12とを有し、内面シート11には粘着剤13が塗布されている。図において

、連結部 6 の内外面シート 1 1， 1 2 に固定されている複数条の帯片 2 は、幅方向において互いに隣り合い、厚さ方向において 2 ～ 3 枚が重なり合っている。

【 0 0 1 4 】

図 2 は、着用状態にある尿誘導シート 1 を示す。尿誘導シート 1 は、内面シート 1 1 がそれに塗布された粘着剤 1 3 を介して着用者 1 0 の腹部の肌に張り付けられている。帯片 2 は、着用者 1 0 の腹部から下方へ延びて股部で幅が狭くなるように集合して尿道口（図示せず）を覆っている。尿誘導シート 1 の外側には、体液吸収性の芯材 1 6 と、それを挟む透液性内面シート 1 7 と不透液性外面シート 1 8 とからなる慣用の吸尿パッド 1 9 が当てがわれている。かかる吸尿パッド 1 9 の外側には、このパッド 1 9 を着用者 1 0 の股部に密着させておくための、仮想線で示すブリーフ 2 1 が着用されている。このように尿誘導シート 1 が使用されると、排泄された尿が、尿道口の前方に位置する帯片 2 に当ってこの帯片 2 を濡らし、その尿がシート 1 に導かれて帯片 2 の下端部 5 へ向かって、換言すると吸尿パッド 1 9 の股下域へ向かって流れ、吸尿パッド 1 9 の幅方向へ流れることがない。それゆえ、尿誘導シート 1 を使用すると、吸尿パッド 1 9 における尿の横漏れを防ぐことができる。

【 0 0 1 5 】

図 3 は、尿誘導シート 1 の使用例を示す吸尿パッド 1 9 の部分破断斜視図である。吸尿パッド 1 9 は、図 2 のそれと同様に透液性内面シート 1 7 と、不透液性の外面シート 1 8 と、これら両シート 1 7， 1 8 間に介在する体液吸収性の芯材 1 6 をと有し、内面シート 1 7 の上面 1 7 a には、尿誘導シート 1 の連結部 6 が接着、粘着、溶着等の接合手段によって取り付けられている。尿誘導シート 1 は、連結部 6 が吸尿パッド 1 9 における両端部 2 6 の一方の近傍に位置し、帯片 2 が両端部 2 6 間に長く延びている。かような吸尿パッド 1 9 を使用すれば、尿誘導シート 1 を図 2 の如く着用者の肌に貼り付ける必要がない。図の吸尿パッド 1 9 は、パッド着用者が慣用の吸尿パッドと図 1 の尿誘導シート 1 とを入手すれば、自分で作ることができる。図示例の尿誘導シート 1 は、帯片 2 と連結部 6 とが同じシート材料で作られており、複数条の帯片 2 が幅方向へ並んでいる。

【 0 0 1 6 】

この発明において、吸尿パッド 19 を対象にして説明した尿誘導シート 1 は、使い捨ておむつとともに使用することができる。誘導シート 1 において、帯片 2 は、その幅方向よりも長さ方向へ尿を速やかに拡散できるものであることが好ましい。そのような帯片 2 は、帯片 2 を形成する繊維を帯片 2 の長さ方向へ配向させることによって得ることができる。繊維は、それが疎水性のものであって帯片 2 の長さ方向へ配向していると、帯片 2 の尿の流れを帯片 2 の下端部 5 へ向かって導くことが容易になる。かような帯片 2 は、それが延びる方向を様々に変えることができるから、尿の流れを導くために体液吸収性の芯材に形成される圧搾溝と異なり、尿の流れを導く方向が比較的自由に換えられる。

【 0 0 1 7 】

【発明の効果】

この発明に係る尿誘導シートは、それを肌に張り付けたり、吸尿パッドや使い捨ておむつの内面に貼りつけたりすることで、尿の流れを尿誘導シートの帯片が延びる方向へ導くことができるから、この誘導シートを使用すると使い捨ておむつ等における尿の横漏れを簡単に防ぐことができ、体液吸収性の芯材に圧搾溝を形成する必要がなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

尿誘導シートの斜視図。

【図 2】

尿誘導シートの使用状態を示す図。

【図 3】

尿誘導シートの使用状態を示す図 2 とは異なる図。

【符号の説明】

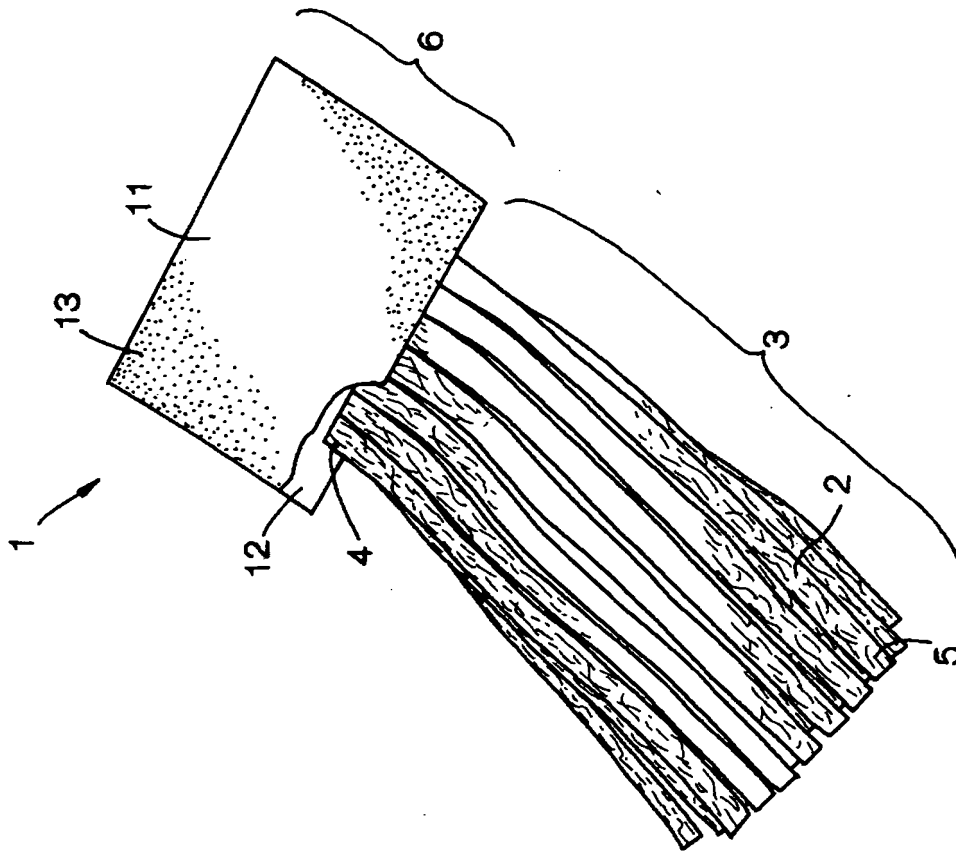
- 1 尿誘導シート
- 2 帯片
- 3 尿誘導部
- 4 上端部
- 5 下端部

6 連結部

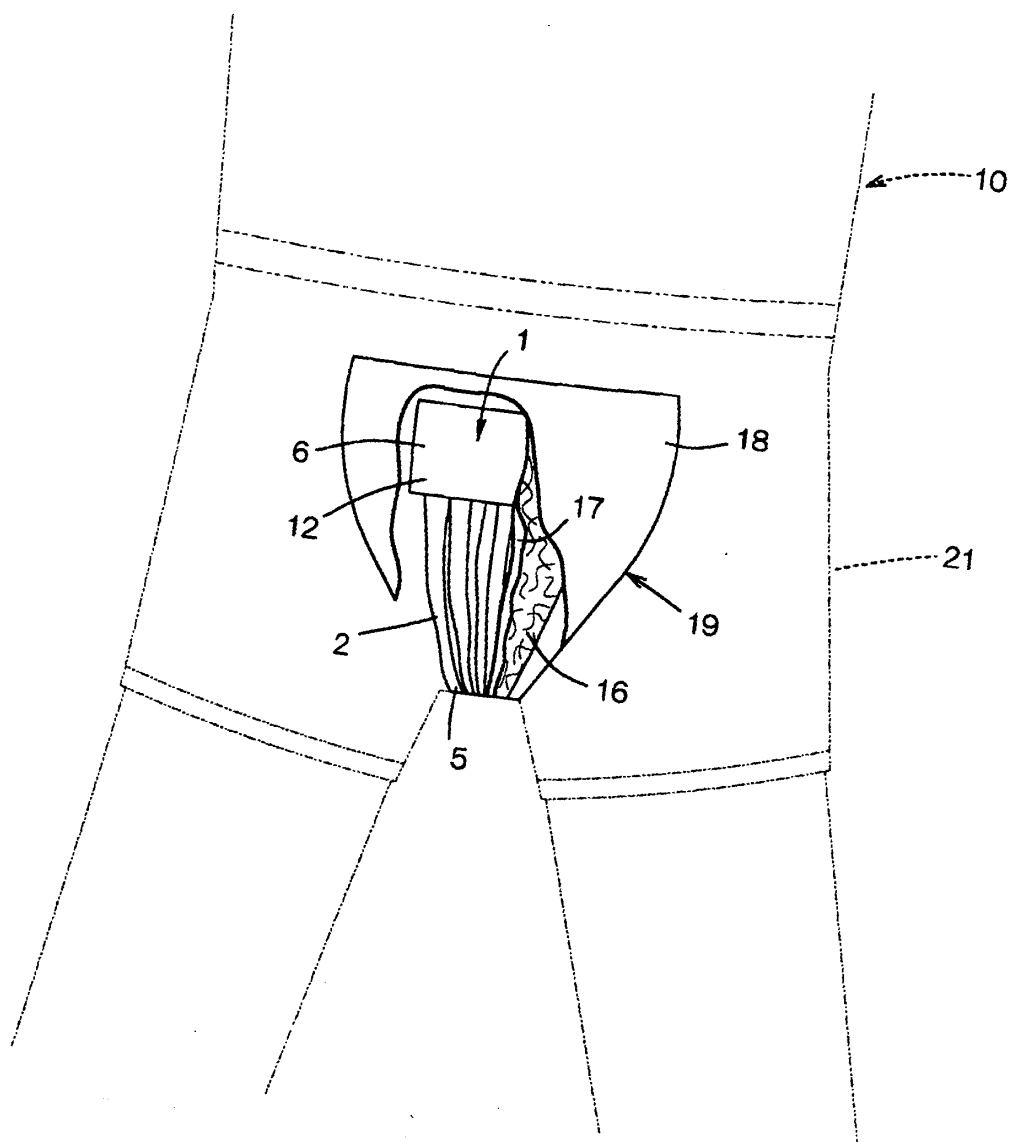
【書類名】

図面

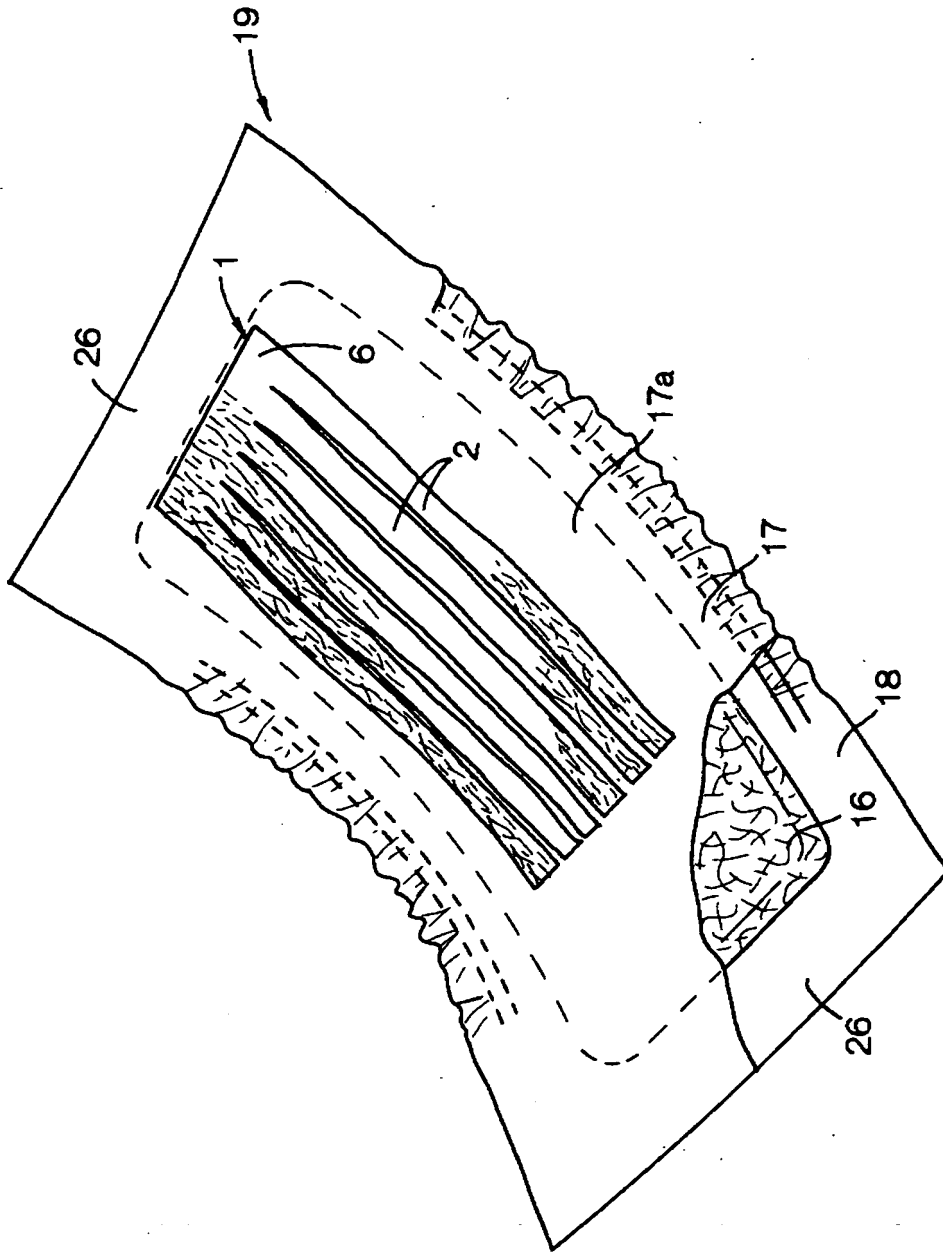
【図1】



【図2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 体液吸収性着用物品と併用して尿の流れる方向を誘導できるシートの提供。

【解決手段】 吸尿パッド等の体液吸収性着用物品と併用する尿誘導シート 1 が、互いに並行して上下方向へ延びる複数条の帯片 2 からなる尿誘導部 3 と、帯片 2 の上端部 4 どうしをつないで帯片 2 の幅方向へ延びる連結部 6 とによって形成される。

【選択図】 図 1



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000115108]

1. 変更年月日 1990年 8月24日
[変更理由] 新規登録
住 所 愛媛県川之江市金生町下分182番地
氏 名 ユニ・チャーム株式会社